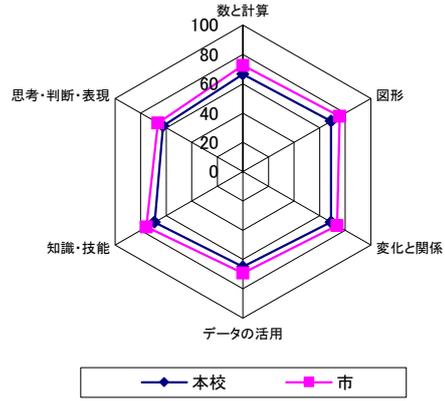


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	66.6	72.6	73.1
	図形	69.0	75.7	74.7
	変化と関係	69.0	73.6	66.1
	データの活用	64.9	69.2	70.7
観点別	知識・技能	69.1	75.5	74.4
	思考・判断・表現	62.5	66.5	67.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●校内正答率は66.6%で、市の正答率を6.0ポイント下回った。 ○整数×小数と、整数×分数の計算に共通するかけ算の性質を判断する問題では、市の校内正答率を4.3ポイント上回った。 ●1より小さい分数をかける乗法の問題場面を理解し、乗法の関係を式で表す問題の校内正答率は51.7%で、市の正答率より12.8ポイント下回っている。 	<p>問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線、線分図、テープ図などで正確に表すことで、問題を解決することができるように随時指導・支援をしていく。また、文章問題や日常生活に関わる問題を解く機会を計画的に設定し、数量の関係について自分の言葉で記述して表現したり説明したりするような数学的活動を積極的に取り入れるようにすることで、基礎・基本の着実な定着を図っていく。</p>
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●校内正答率は69.0%で、市の正答率を8.7ポイント下回った。 ●高さが図形の外にある平行四辺形の面積を求める式を理解しているか否かを問う問題の校内正答率は54.0%で、市の正答率を12.6ポイント下回っている。 ●合同な三角形の作図の問題の校内正答率は79.3%で、市の正答率を7.2ポイント下回っている。 ○三角形の展開図を組み立てたときに重なる頂点がどれかを答える問題の校内正答率は87.4%で、市の正答率とほぼ同じであった。 	<p>図形の学習では、図形の感覚を豊かにし、図形の性質を実感することができるようにするため、各学年で必要となる知識・技能を確実に習得したり知識同士を結び付けたりしていくことが大切である。図形に関する基本的な知識・技能を身に付け、活用していくことができるようにするため、具体物を用いたり作図を取り入れたりと数学的活動をの充実を図る。</p>
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> ●校内正答率は69.0%で、市の正答率を4.6ポイント下回った。 ○半分が何%であるかを理解している問題の校内正答率は87.4%で、市の正答率を3.2ポイント下回っている。 ●表から面積と人数の割合を求め、どの公園が最も混んでいるかを考察する、単位量あたりの大きさに関する問題の校内正答率は64.4%で、市の正答率を8.9ポイント下回っている。 	<p>単位量あたりの大きさや速さ、割合をはじめとする変化と関係に関する問題に対しては、自分の考え方を数直線や線分図、式、言葉などを使って表したり、自分の言葉で分かりやすく説明したり、教師や友達の説明を聞いてから、改めて補足したりするなどの数学的活動を積極的に取り入れるようにする。また、既習の学習内容を繰り返し復習し、身近な生活の中で学習した知識を積極的に活用していくことで、基礎・基本の確実な定着を図ることができるようにする。</p>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ●校内正答率は64.9%で、市の正答率を4.3ポイント下回った。 ○円グラフを正確に読み取る問題の校内正答率は92.9%で、市の正答率を1.1ポイント上回った。 ●代表値を用いて、ある1人の反復横跳びの記録がクラスの半分より高い記録なのかどうかを説明する問題の校内正答率は23.0%で、市の正答率を6.8ポイント下回っている。 	<p>円グラフや帯グラフをはじめ、様々なグラフや各種のデータを正確に読み取り、問題場面と関連付けて、問題解決の方法を自分の言葉や式で説明するような数学的活動を計画的に取り入れる。引き続き、計画的に学級全体での指導を行いながら、個の実態に応じた、きめ細かな支援をしていくことで、それぞれのグラフのよさやデータの特徴に気付くことができるようにしていく。また、既習事項を生かして、算数だけでなく、他教科や領域の学習や身近な生活の中で活用するようしていくことで、それぞれのグラフのもつよさやデータの特徴・傾向に気付くことができるようにする。</p>